

## 受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「USプレミアム・インカムファンド(年4回決算型)」は、2024年11月25日に第4期決算を行いましたので、第3期から第4期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドは、特別目的会社ハーブ・インシュア・ピーエルシーが発行する円建パフォーマンス・リンク債券(以下「担保付円建債券」ということがあります。)への投資を通じて、実質的に米国株式プレミアム戦略のパフォーマンスからの安定的なリターンの獲得を目指し、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められています。運用報告書(全体版)については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

### <閲覧方法>

右記URL⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書(全体版)」を選択

# USプレミアム・インカムファンド (年4回決算型)

商品分類(追加型投信/海外/株式)

## 第2作成期

第3期(決算日 2024年8月26日)

第4期(決算日 2024年11月25日)

作成対象期間: 2024年5月28日~2024年11月25日

第4期末(2024年11月25日)	
基準価額	9,668円
純資産総額	10百万円
第3期~第4期	
騰落率	△1.2%
分配金合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。



T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

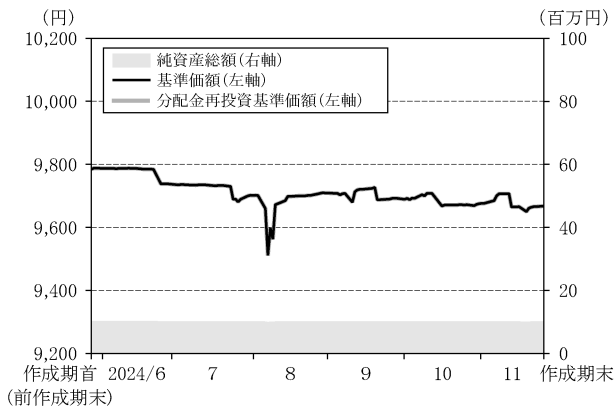
お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

## 基準価額等の推移



第3期首：9,785円

第4期末：9,668円(既払分配金0円)

騰落率：△1.2%(分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2024年5月27日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## 基準価額の主な変動要因

高位に組入れている担保付円建債券において、プットオプションの売却によるプレミアムがプラス寄与した一方で、主にコストディフィーや信託報酬などのファンドのコストがマイナス寄与し、基準価額(分配金再投資ベース)は下落しました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第3期～第4期		項目の概要
	2024/5/28～2024/11/25		
	金額	比率	
平均基準価額	9,716円		作成期間の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	60円 (27) (32)  (2)	0.620% (0.274) (0.329)  (0.016)	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用  (保管費用)  (監査費用)	261  (260)  (1)	2.682  (2.676)  (0.006)	(b) その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	321	3.302	

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

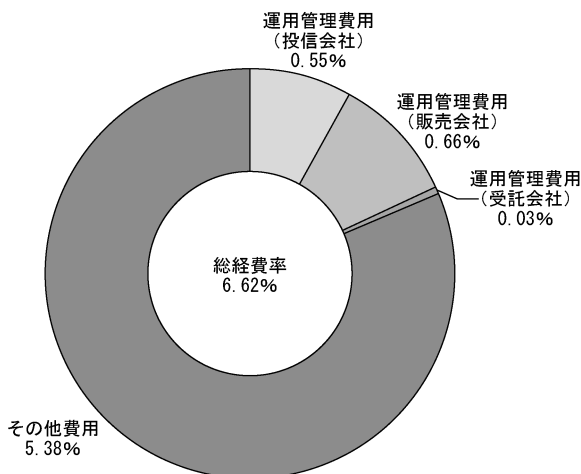
(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

### (参考情報)

#### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は、6.62%です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

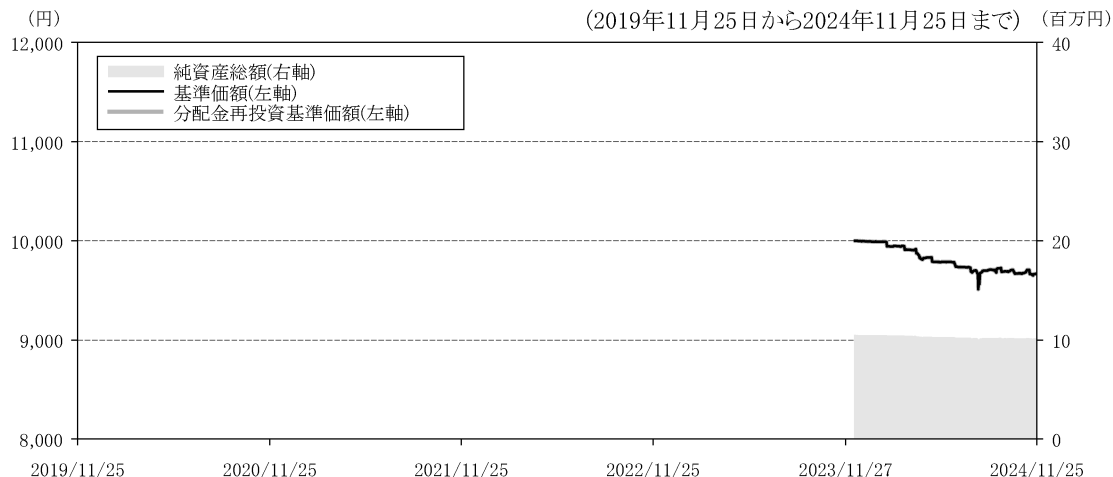
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) ファンドの純資産総額が小さいため、総経費率においてファンドの運営に必要な定額のミニマムコスト(その他費用)の占める比率が大きくなっております。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2023年12月14日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

		2023年12月14日 設定日	2024年11月25日 決算日
基準価額(分配落)	(円)	10,000	9,668
期間分配金合計(税込み)	(円)	—	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△ 3.3
純資産総額	(百万円)	10	10

(注) 当ファンドは、特定の指数に連動すること、特定の指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

## 投資環境

---

### ■ 米国株式市況

米国株式市場は、作成期初から2024年7月前半にかけては、米早期利下げ観測の強まりを背景に上昇しました。7月中旬に米国の対中半導体規制の強化についての報道などが重荷となり株価が下落すると、8月上旬にかけては、米雇用統計が市場予想以上に悪化したことなどを受け、米景気後退懸念が強まり続落しましたが、8月下旬にかけては、米景気後退への過度な不安が和らいだことで反発する展開となりました。9月上旬には、低調な米経済指標を受けて米景気の後退懸念が再燃し、下落する局面もありましたが、その後、FRB(米連邦準備制度理事会)の大幅利下げや中国の金融緩和策が好感されたことで、9月下旬にかけて上昇しました。10月には米大統領選を控えるなか、不安定な値動きとなる局面も見られたものの、その後はトランプ氏勝利による減税や規制緩和期待などから、作成期末にかけて堅調な展開となりました。

### 当該投資信託のポートフォリオ

---

作成期を通じて、担保付円建債券を概ね高位に組入れました。担保付円建債券は、実質的に米国株式プレミアム戦略のパフォーマンスからの安定的なリターンの獲得を目指します。米国株式プレミアム戦略は、米国の株価指数であるS&P500指数(以下「参照指数」ということがあります。)を原資産としたプットオプション(期間は約1週間。権利行使価格はプットオプション構築時の参照指数値の97%)を売却することで、参照指数の下落による損失を低減しつつプレミアムの獲得を目指す戦略です。

### 当該投資信託のベンチマークとの差異

---

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## 分配金

1万口当たりの分配金(税込み)は基準価額水準、市況動向等を勘案し、第3期、第4期ともに見送らせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項目	第3期	第4期
	2024年5月28日 ～2024年8月26日	2024年8月27日 ～2024年11月25日
当期分配金	0	0
(対基準価額比率)	—	—
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	26	26

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

担保付円建債券を高位に組入れ、実質的に米国株式プレミアム戦略のパフォーマンスからの安定的なリターンの獲得を目指します。

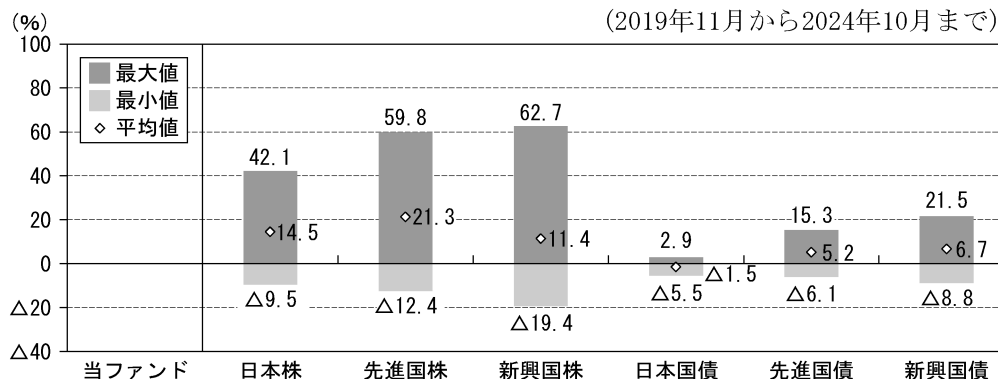
S&P 500<sup>®</sup>はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社(「SPDJI」)の商品であり、これを利用するライセンスがT&Dアセットマネジメント株式会社に付与されています。Standard & Poor's<sup>®</sup>およびS&P<sup>®</sup>、S&P 500<sup>®</sup>、US 500<sup>™</sup>、The 500<sup>™</sup>は、Standard & Poor's Financial Services LLC(「S & P」)の登録商標で、Dow Jones<sup>®</sup>は、Dow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標です。これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスがT&Dアセットマネジメント株式会社にそれぞれ付与されています。USプレミアム・インカムファンド(年4回決算型)は、SPDJI、Dow Jones、S & P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S&P 500<sup>®</sup>のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2023年12月14日から2033年11月25日まで
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハープ・イシュアー・ピーエルシーが発行する円建債券を主要投資対象とします。</li> <li>・ 特別目的会社ハープ・イシュアー・ピーエルシーが発行する円建パフォーマンス・リンク債券(以下「担保付円建債券」ということがあります。 )への投資を通じて、実質的に米国株式プレミアム戦略のパフォーマンスからの安定的なリターンの獲得を目指します。</li> <li>・ 米国株式プレミアム戦略は、米国の株価指数であるS &amp; P 500指数(以下「参照指数」ということがあります。 )を原資産としたプットオプション(期間は約1週間、権利行使価格はプットオプション構築時の参照指数値の97%)を売却することで、参照指数の下落による損失を低減しつつプレミアムの獲得を目指す戦略です。</li> <li>・ 担保付円建債券の組入比率は、高位とすることを基本とします。</li> <li>・ 資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。</li> </ul>
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担保付円建債券への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・ 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</li> <li>・ 投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。 )への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。</li> <li>・ 外貨建資産への直接投資は行いません。</li> <li>・ デリバティブ取引の利用は、ヘッジ目的に限定しません。</li> </ul>
分配方針	<p>毎決算時(2月、5月、8月、11月の各25日、休業日の場合は翌営業日)に分配を行います。</p> <p>分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>

## 【参考情報】

### ■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) 上記は、2019年11月から2024年10月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(注) 当ファンドは2023年12月14日に設定されたため、表示対象となる数値はありません。

#### ○各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)<sup>※1</sup>

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)<sup>※2</sup>

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)<sup>※3</sup>

日本国債・・・NOMURA-BPI国債<sup>※4</sup>

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)<sup>※5</sup>

新興国債・・・JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円ベース)<sup>※6</sup>

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※1 東証株価指数(TOPIX)とは、株式会社JPX総研が算出する株価指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研に帰属します。

※2 MSCIコクサイ・インデックスはMSCIが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

※3 MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCIが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。

※4 NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスを用いて行われるT&Dアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

※5 FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

※6 JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドは、JPモルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJPモルガン社に帰属します。



# 当該投資信託のデータ

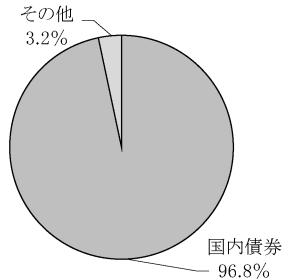
## 当該ファンドの組入資産の内容

### ■ 組入銘柄

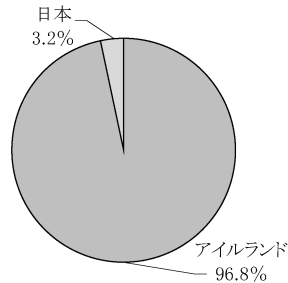
(組入銘柄数：1銘柄)

第4期末			
2024年11月25日			
銘柄名	種類	償還日	比率
HARP Issuer US Put Weekly(担保付円建債券)	社債	2028/12/20	96.8%

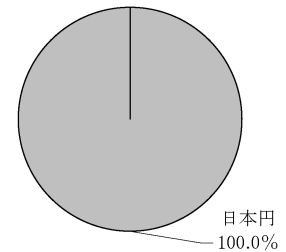
### ■ 資産別配分



### ■ 国別配分



### ■ 通貨別配分



(注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

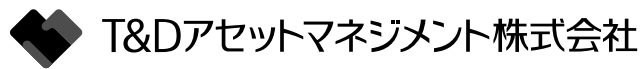
(注) 国別配分は発行国を表示しております。

※詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)をご覧ください。

## 純資産等

項目	第3期末	第4期末
	2024年8月26日	2024年11月25日
純資産総額	10,191,244円	10,151,427円
受益権総口数	10,500,000口	10,500,000口
1万口当たり基準価額	9,706円	9,668円

(注) 当作成期間(第3期～第4期)中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。



T&Dアセットマネジメント株式会社